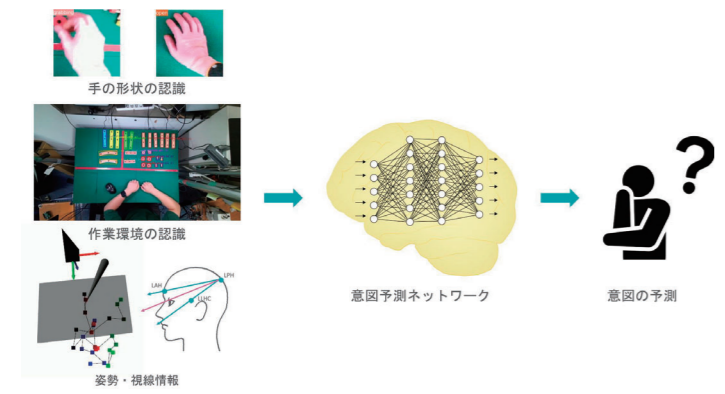


学術情報メディアセンター 発表例

組立作業への円滑な支援に向けた作業意図予測



その他の発表例

- OpenRoamingにおける利用者情報のプライバシーに配慮した地域間データ連携
- 整数演算を用いた連立一次方程式の求解
- マイクロQRコードを活用した自己教師あり学習による動画とテキストの対応付け

大学院情報学研究所 知能情報学コース 発表例

アンドロイド ERICA による国際会議におけるインタビュー対話システム

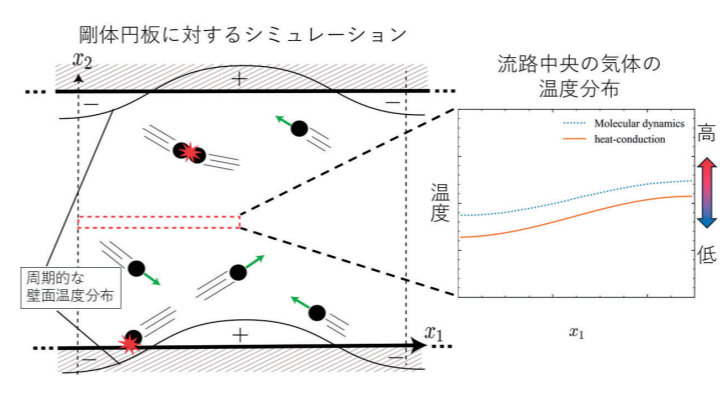


その他の発表例

- 多人数傾聴対話ロボット「きくロボ」
- パーソナリティ情報統合による音声感情認識性能の向上
- Flexible Weight Tuning and Weight Fusion Strategies for Continual Named Entity Recognition
- Between Screen and Soul: How Complex Emotions Affect and Reflect Movie Attractiveness.

大学院情報学研究所 先端数理科学コース 発表例

波型壁面温度をもつ流路内に誘起される流れに対する剛体円板分子動力学

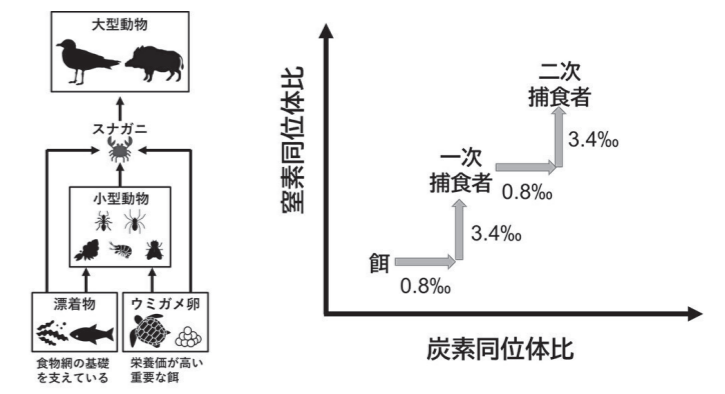


その他の発表例

- 温度場が誘起する分子気体流に対する壁面ポテンシャルの影響
- 1次元バリスティックダイオードに対するスピノルボルツマン方程式を用いた電子の流れの数値解析
- 集光レーザーを用いた微小物質の光熱捕捉実験

大学院情報学研究所 社会情報学コース 発表例

安定同位体分析を用いたスナガニ属の餌におけるウミガメ卵の奇与率の推定

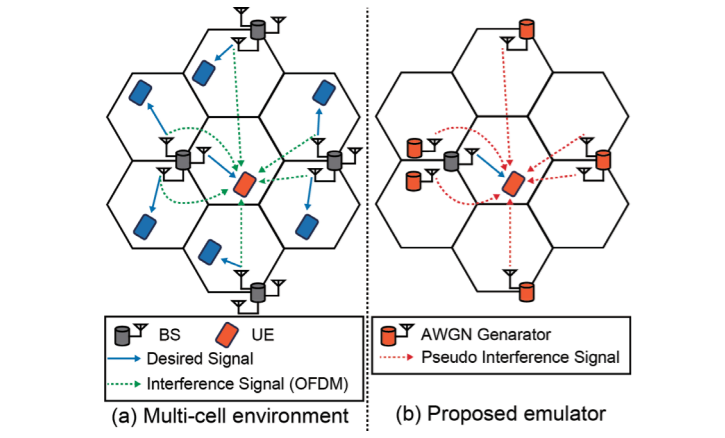


その他の発表例

- LLMを用いた議論の自動評価
- LLMを方策としたエージェントの階層型・対話型エージェント間通信および階層的なサブゴールの自動生成
- 高い分権性が51%攻撃耐性を必ずしも上げるとは限らない

大学院情報学研究所 通信情報システムコース 発表例

疑似干渉発生機構を用いた5Gマルチセル干渉エミュレータ開発

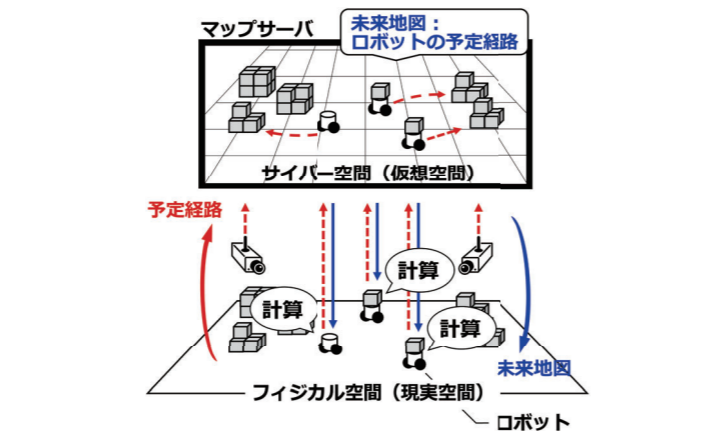


その他の発表例

- 高速移動通信に向けたOFDM変調によるIoT用無線通信システムの伝送距離向上に関する技術開発

大学院情報学研究所 システム科学コース 発表例

未来地図を用いた搬送ロボットの制御：次世代スマートウェアハウスの実現



その他の発表例

- EEG markers for anticipated difficulty of future visual task
- 事前方策学習による低次元行動空間抽出と実環境における物体操り動作獲得
- 弁別学習課題における行動特性と脳活動に基づく精神疾患のリスク評価

プラットフォーム学卓越大学院プログラム 発表例

国際学会における交流促進用アプリの開発と参加者の活動記録の解析

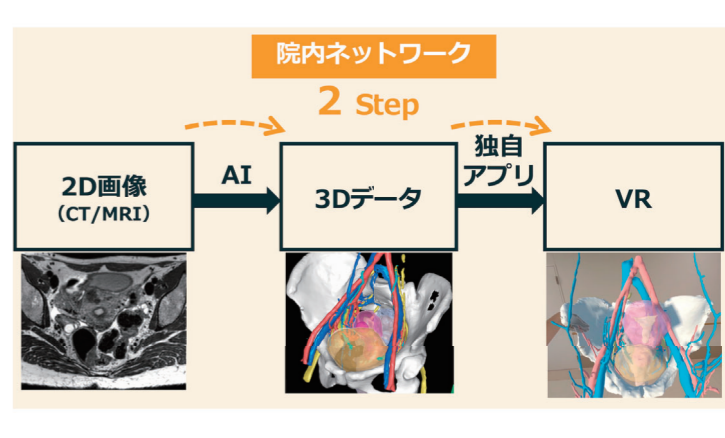


その他の発表例

- データを繋ぎ、人を繋ぎ、専門を繋ぐプラットフォーム学
- データ駆動型農業の経済的影響: 販売額1000万円以上への奇与

機構次世代AIプログラム 発表例

3次元骨盤臓器解析システムの開発と拡張現実技術の臨床応用可能性の検討



その他の発表例

- 多様な生成AIモデルを使った診療録からの構造化抽出と臨床研究支援

京都大学 大学院情報学研究所 研究科長
五十嵐 淳

京都大学情報学研究所は、1998年に我が国初の「情報学」の研究科として創設され、約120名の教員と約660名の大学院生を擁する我が国最大規模の研究科です。研究分野は、狭義のICTだけでなく、数理・データサイエンス・AIのほぼあらゆる領域を包含しています。運営費交付金に加えて、毎年様々な公的機関・企業様から約10億円の外部資金を頂いて、独創的・最先端の研究を行っています。「京都大学ICTイノベーション」は、その研究成果を広く発表するとともに、今後の産官学連携・人的交流につなげていく場です。多くの方のご参加をお待ちしています。



京都大学 学術情報メディアセンター センター長
森 信介

学術情報メディアセンターは、学内外の方々と共に研究を進める共同利用・共同研究拠点として、ICTの研究に取り組んでいます。また、そのための環境として、スーパーコンピュータの設計・導入・運用や情報基盤の試用なども行っております。このような活動による成果や知見を様々な学術分野を横断する異分野融合・新分野創成の推進、および学術・社会のイノベーションの創出に活かしていきます。ICTイノベーションでは、共同研究の成果とともに、様々な分野に展開可能なシーズとなる技術を展開いたしますので、本センターとの連携活動の出発点としてご活用ください。



プラットフォーム学卓越大学院プログラム プログラムコーディネーター
原田 博司

京都大学は、2021年度から、5年一貫の博士課程「プラットフォーム学卓越大学院プログラム」を情報学研究所、農学研究科、医学研究科、防災研究所、公共政策大学院が連携してスタートさせました。このプログラムは情報技術と通信技術を融合させた情報学と、情報やデータ創造し、価値創造を行う現場領域(農学、医学、防災等)および文系学術との系統的な連携によりプラットフォーム学を新たに創造し、この複数専攻領域からなるプラットフォーム学の知識と高度かつ独創的な基盤技術に関する研究力を取得できる教育プログラムを提供し、世界を牽引するプラットフォーム構築者を育てるものです。ICTイノベーションでは、このプラットフォーム学卓越大学院の概要、入学・履修関連情報、履修生の研究成果、産学官連携の方法等の紹介をおよび履修生の研究発表を行います。



京都大学 成長戦略本部 本部長
室田 浩司

京都大学は、社会連携を通じて、産業界と共に新たな価値の創造を促進させることで、未来創造に取り組んでいます。特に昨今は、SDGsの達成に貢献すべく、アカデミアの立場から様々な取り組みを行っています。「京都大学ICTイノベーション」は、本学における情報通信技術に関わる最先端の研究成果を広く公開することを通じて、産業界の方々と共にオープンイノベーションを促進し、社会実装に繋げるための企画であり、19回目を迎えることができました。今回の企画を通じて、通信技術分野における本学の先端研究と産業界の優れた技術力や事業構想力が一体となって、希望溢れる未来の創造につながることを期待しております。

